

Leader



2024年3月期 第1四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2023年8月8日

<https://www.leader.co.jp/>

Leader

2024年3月期 第1四半期 決算



<https://www.leader.co.jp/>

2024年3月期 第1四半期 決算総括

業績：期初計画達成に向けて順調な滑り出し。

サプライチェーンはほぼ正常化（1Q時点は9割以上正常化）。

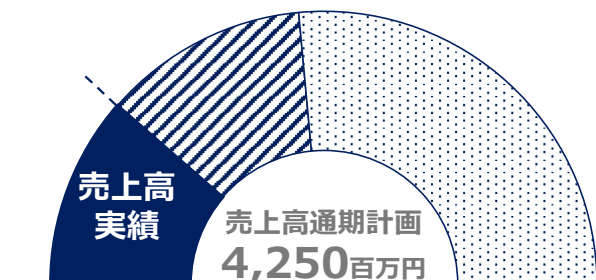
■ 売上高：970百万円（前期比+30.6%），経常利益155百万円

中国	厳しい状況が継続。本格回復には程遠い状況。
北米	IP対応機種を中心に新技術への投資スピードは想定以上。
欧州	インフレの影響大。コスト削減が優先され投資マインドは低調。
日本	前期から引き続き設備投資意欲低調。当面回復の気配無し。

■ 財務：自己資本比率 78.6%と盤石の財務基盤維持（前期末比+3.5pt）

■ 今期業績見通しについて

- 前期までの受注残を順調にこなしつつ新たな受注も獲得。
- 前期までの苦戦の主因である「サプライチェーンの混乱による製品供給量の抑制」は設計変更による対応含め2Qで正常化予定。
- 堅調な北米を軸に通期計画に向けて積極的に営業を展開。



対通期計画
進捗率22.8%

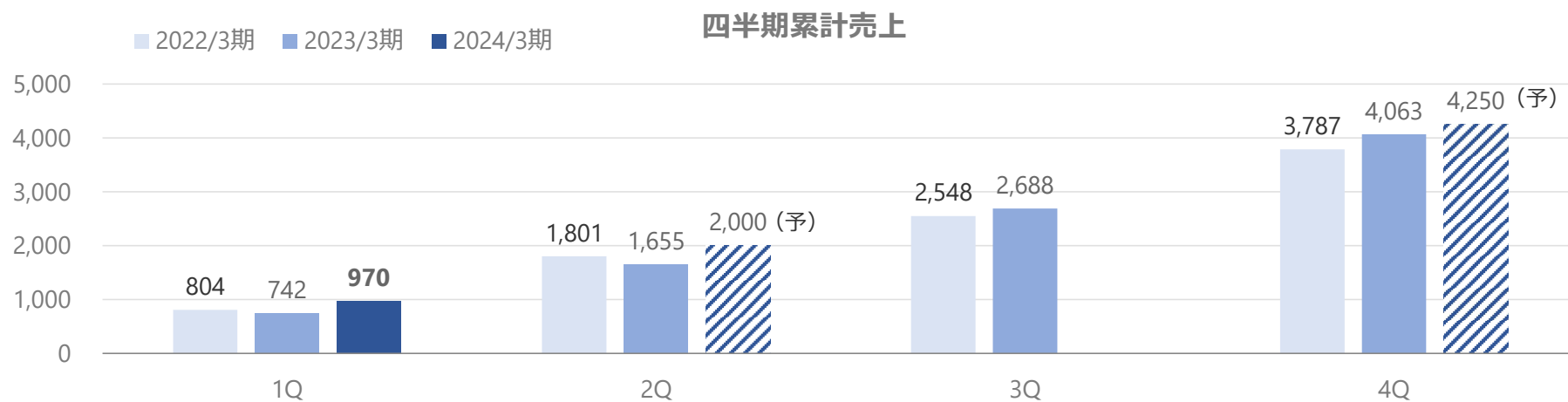
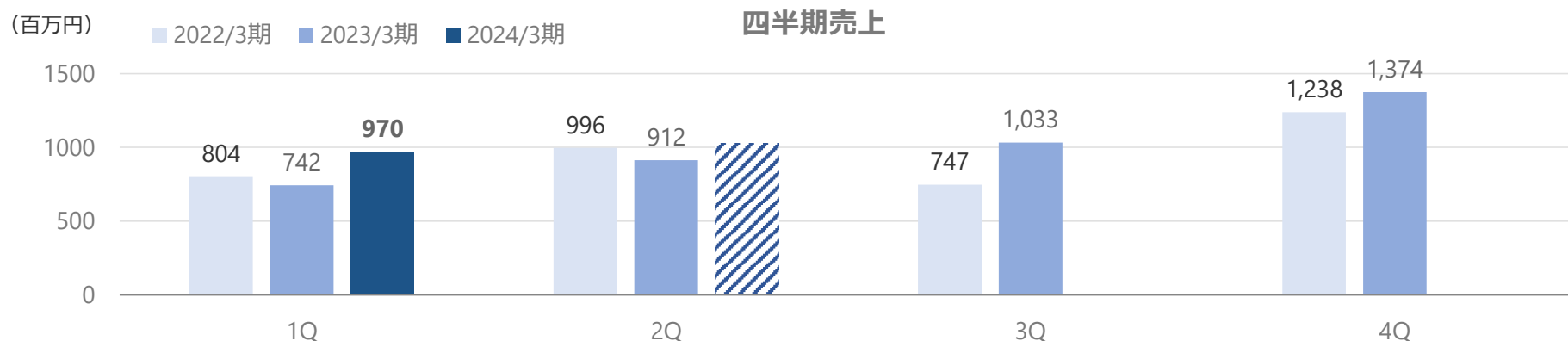
北米ではIP化への投資が活発。

営業実績の蓄積により北米でのシェア拡大傾向。

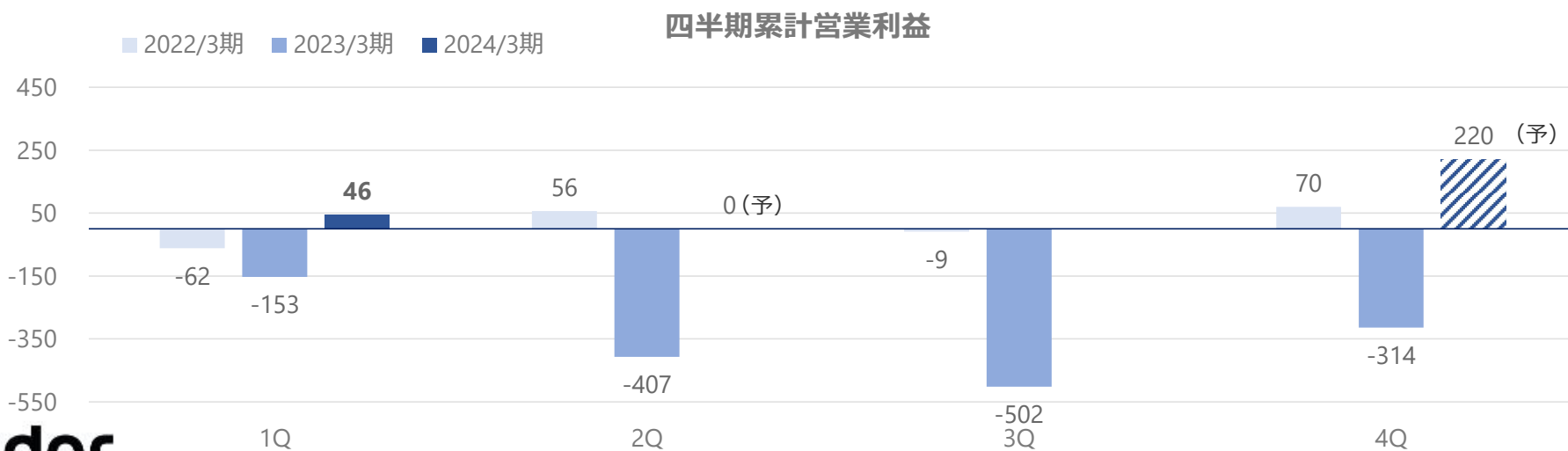
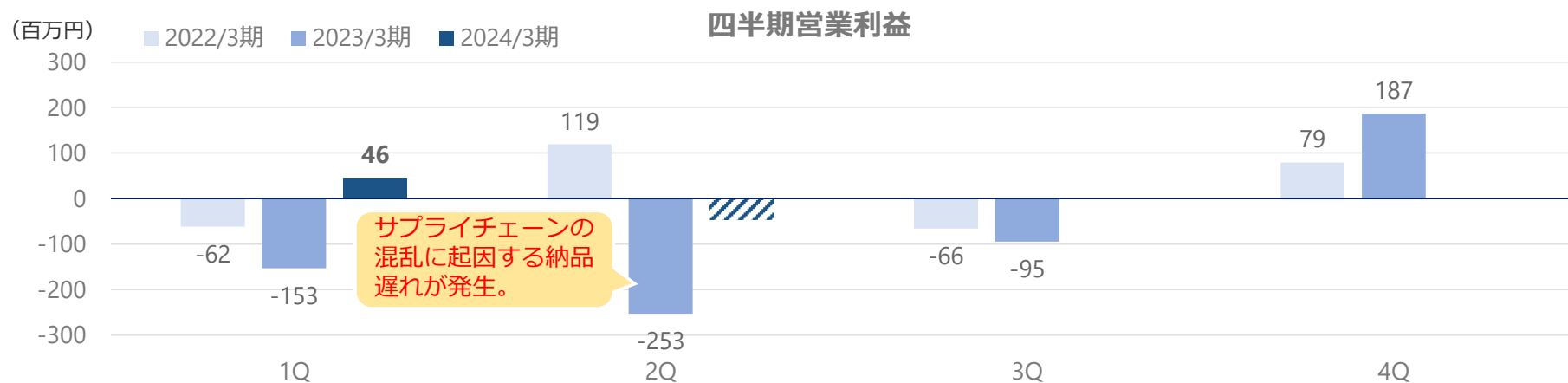
(単位：百万円)	2023年3月期 1Q 実績	構成 %	2024年3月期 1Q 実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	742	100%	970	100%	+30.6%
売上総利益	507	68.3%	682	70.3%	+34.4%
販売費及び一般管理費	660	89.0%	635	65.5%	△3.8%
営業利益	△153	—	46	4.8	—
経常利益	△85	—	155	16.0	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△98	—	126	12.9	—

為替差益
105百万円

四半期業績推移（売上高）

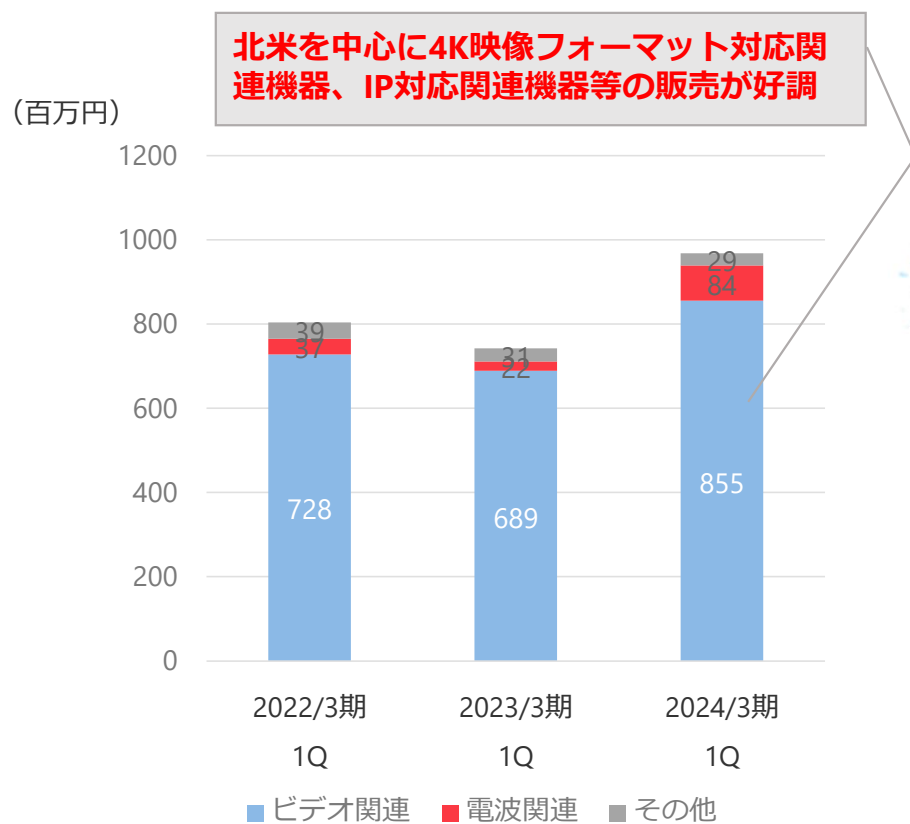


四半期業績推移（営業利益）

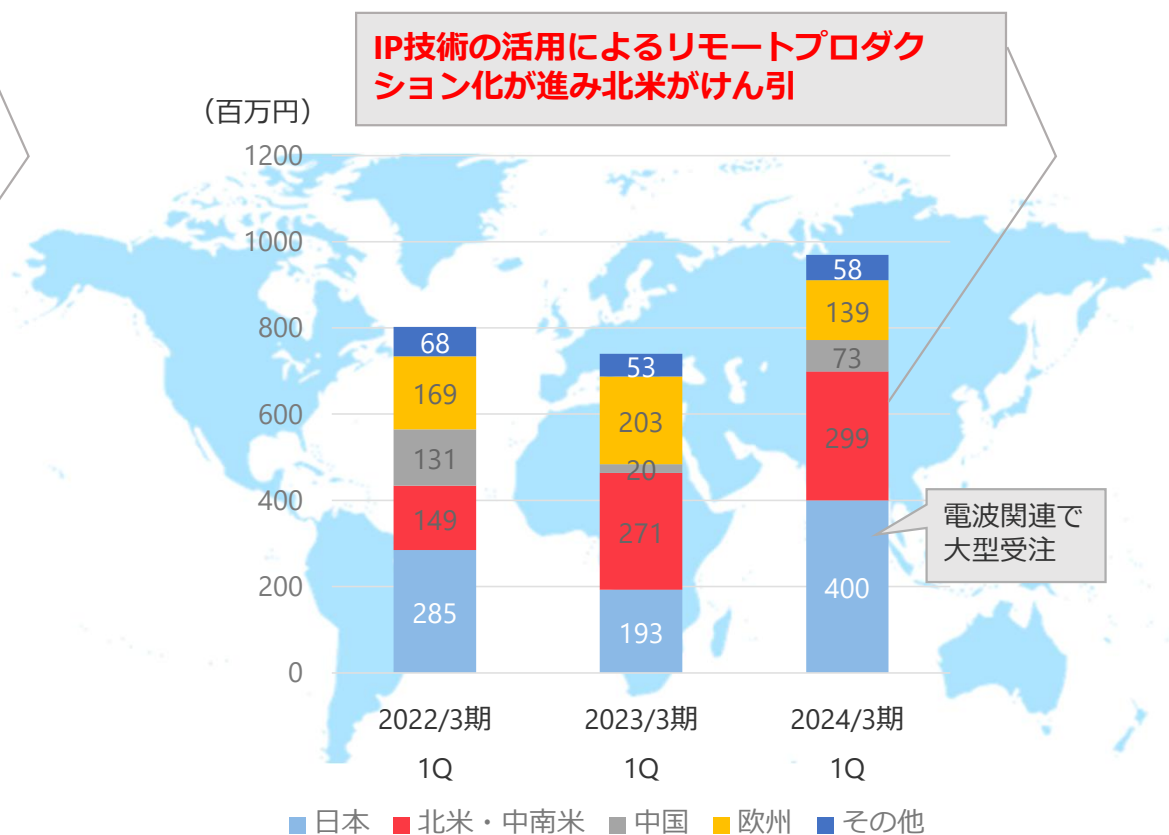


セグメント情報

商品別売上高



地域別売上高



単位:百万円	23年3月末	23年6月末
流動資産	4,418	4,176
現預金	2,428	2,108
受取手形、売掛金及び契約資産	1,235	1,141
商品及び製品	351	365
その他	404	562
固定資産	991	992
有形固定資産	503	491
無形固定資産	39	39
投資その他の資産	448	461
総資産	5,409	5,168
流動負債	840	578
買掛金	246	121
1年内返済予定の長期借入金	5	5
その他	589	451
固定負債	492	510
退職金に係る負債	344	340
その他	147	169
純資産	4,076	4,079
株主資本合計	4,138	4,219
その他包括利益累計等	▲61	▲139
負債純資産合計	5,409	5,168

資本コストをより意識した経営を重要な経営課題と認識

既存事業（バリュービジネス）でのシェア向上と新規事業（グロースビジネス）の収益化という自社経営資源による成長及びM&A等を通じた外部資源を活用した成長によりROEを改善することを目指す一方、自己株取得等の施策を通じて資本コストを低減することにより、企業価値を向上し、資本コストを安定的に上回るROEの達成を目指す。

主な増減要因

- 現金及び預金：△320百万円
- 支払手形及び買掛金：△124百万円
- 未払金：△108百万円

自己資本比率78.6%（前期末比+3.6pt）

2024年3月期 通期計画



<https://www.leader.co.jp/>

外部環境認識

環境

1. 外部環境は2023年一杯は厳しい状況が続くと想定。
 - エリアごとの環境想定
 - 中国 本格回復までには時間が掛かる。
 - 北米 マクロ環境の厳しさはあるものの堅調。新技術への投資は意欲的。
 - 欧州 パリ五輪に向けての期待感はあるものの楽観視はできない。
 - 日本 当面投資の拡大は見込めない。
2. サプライチェーンの混乱は落ち着きつつあるも暫く継続することを想定。

影響

- 少なくとも2023年度前半までは売上の大きな拡大は見込めない。

対策

- **厳しい外部環境下でも利益確保できる体制作り。構造改革の推進。経営資源の効率化。**
- **設計変更を含めた、サプライチェーン強化への取り組み。 (2Qで完了予定)**
- **動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続。**

2024年3月期通期業績計画

- 北米におけるIP技術を使ったリモートプロダクション化の流れは想定以上の速さ。動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続。
- 原材料のひっ迫は、設計変更などの自社努力で早期対応完了予定。
- SFR-fit拡販体制確立。

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	構成 %	2024年3月期 計画	構成 %	前年同期比 %
売上高	4,063	100%	4,250	100%	+4.6%
営業利益	△314	△7.7%	220	5.2%	—
経常利益	△214	△5.2%	220	5.2%	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△644	△15.8%	120	2.8%	—

【戦略製品】

Leader

GLADIAS Cloud

➤ 今期、来期はマーケティング注力。機能開発は継続、常に進化！



コンテンツチェッカー

GLADIAS Cloud

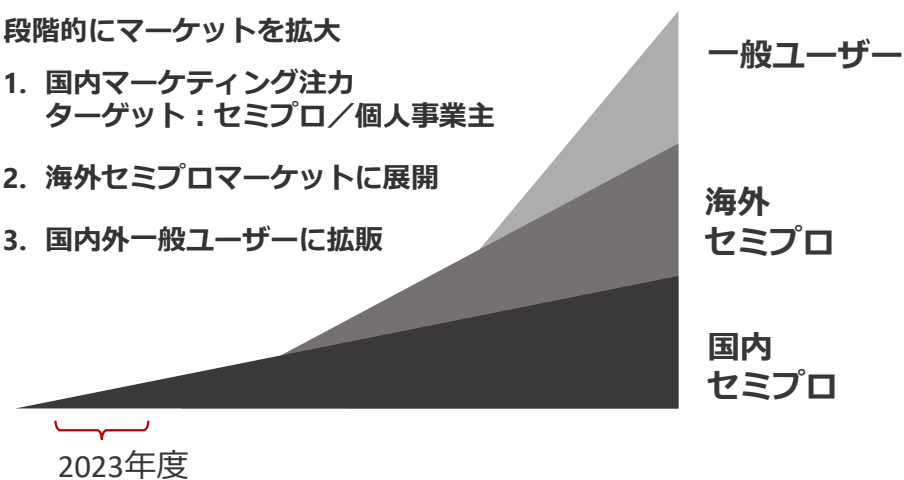
通常、人が目で見て判断する映像・音声のクオリティを、AIが代わって検査するクラウドサービスです。AI (ディープラーニング) を使って、コンテンツの異常と思われる部分を見つけ出します。



販売拡大イメージ

□ 段階的にマーケットを拡大

1. 国内マーケティング注力
ターゲット：セミプロ/個人事業主
2. 海外セミプロマーケットに展開
3. 国内外一般ユーザーに拡販



【戦略製品】

Leader

SFR-Fit

車載カメラ向け解像度測定ソフトウェア

➤ 国内大手完成車メーカーとの取り組みはセカンドステージへ。

MTF Measurement Software
SFR-Fit

車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

サプライチェーンを含めたビジネスモデル構築中



販売拡大戦略

2023年度

日本国内におけるビジネスモデル（拡販体制）確立期

1. 日本国内完成車メーカーの横展開
2. 日本国内完成車メーカー向けサプライヤー（カメラメーカー等）への縦展開

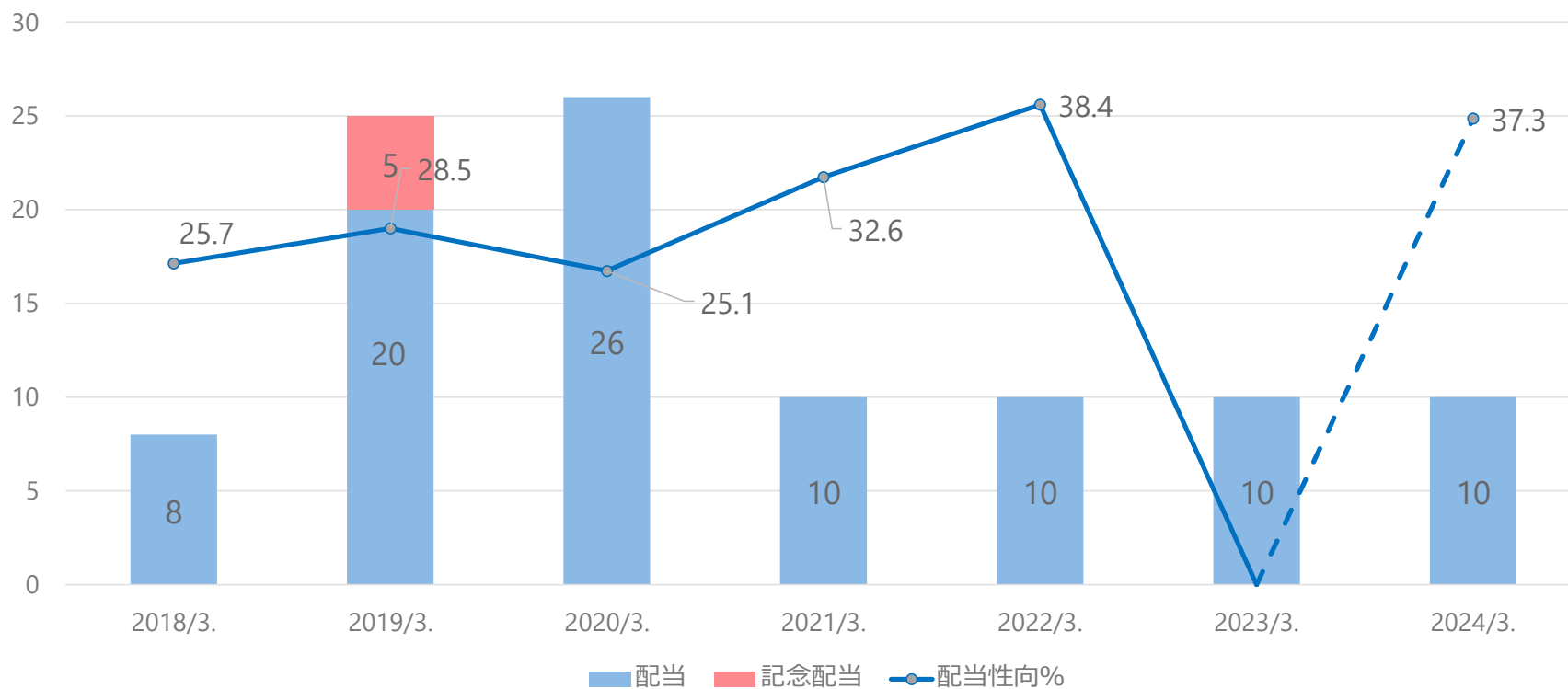
2024年度以降

- 海外自動車メーカー
- 自動車以外の産業に展開

株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。

(配当：円)



R&D指針

市場進化をけん引すべく、積極的にR&D投資を実施し続ける

